



週報 第3114回

会長 白谷 喜世彦 副会長 原 真理子
幹事 小門 茂樹 SAA 山本 博章

例会会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



泉大津ロータリークラブ Izumiotsu Rotary Club

今週の例会(2021年5月21日)

- **プログラム**
卓話担当 川上 正人 会員
卓話 八木 秀富 会員
- **次週のプログラム**
5月28日:卓話担当 前山 佳司 会員
- **今後の予定**
6月 4日:クラブアッセンブリー
各奉仕担当理事
6月11日:卓話担当 松村 泰英 会員
- **祝 誕生日**
なし
- **今月のロータリーソング**
我等の生業

先週の例会 会長の時間

いよいよ暑くなってきました。4月末くらいにそろそろ春物のスーツを出したのですが寒くて。いま風邪ひくとややこしいので、まだ冬物来てますがさすがに暑くなってきました。そろそろ本格的に衣替えですね。



白谷 喜世彦 会長

さて、いつものことながらコロナの話ですが、マンボウ、非常事態宣言、そして延長のおかげか、大阪はどうやら新規感染者が高止まりから、現状傾向にあるようです。いま、日本医師会の会長が主催で、マンボウ発令中に約100人の医師会会員を集めて政治家の献金パーティをやったというニュースが炎上中です。炎上するのは、人流抑えろと言っている本人なのにすんねんということやと思いますが、これは聞いて違う感を持ちました。いま、コロナについては情報が制限、錯そうしてほんまの情報がわかりません。現実ほんまの情報を一番持っているのは、国と医療関係者。今回、自見さんは元厚労省の政務官、そして中川さんは日本医師会の会長。このひとたちが、きしくこの人たちが、いまホテルがやっている感染対策をしなると、会合しても大丈夫ということを見んなにらせたということではないかと思っています。行政対応が暮れて感染拡大を国民の頑張り頼る

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3114回

しかない現状、ゆるんだら感染拡大なので、国民がゆるまなように手を変え品を変え替えているものの現実はそのことかと思ったのはまちがってるのかなあ。それにしても脅し報道ひどい。若い人がいうことかかないからといって、40歳既往症なしの人が急激に重症化したことを特集するとか、錦織選手が感染爆発中のイタリアの試合にでているのに、「一人でも感染者がでる状況ならオリンピック気が進まない。一人でも感染者がいる状況でするべきではない、国民の安全が最優先です。」といったとか。まあどこまでほんとかどうかわかりませんが、やることやらんと情報操作でなんとかしようとしているかのようです。そして、とどかしは突然、ワクチン用意したから、はよ打て。打たれへんのはおまえらが悪いみたいなことをいいたかと思うと。まあすワクチンたらんか現場でなんとかせよみたいな。あげくは、ワクチンについては危険もあるみたいなことも報道されだしました。ワクチンについては、確かに危険はあります。間違いなく社会全体でワクチンを打っていくしか選択肢がないように思えます。リスクが明らかにわかっている人以外で打たないということは安全のただのりのように思えます。最後に、人は集まることによって関係を深めここまで発展してきた。コロナはこれを阻害している。そして人が離れていても関係を維持しているのが問われています。という人がいます。私はこれはむつかしいと思います。人は信頼関係があって初めて共同で仕事をしたり社会を構成することができます。そしてこれらはいまの生活を維持するのに不可欠なものです。その信頼とは言葉だけで成り立つものでなく、言葉以外のコミュニケーションによるものが大多数とえます。このことから、人の生活を守るためにコロナを過剰に恐れず、適切な対応をして、その中で活動して、自分たちの生活、社会を守る必要があります。コロナ終了はゴールではなく、リスタートだから。将来の子供たちのためにもいまだう考え、行動するかが必要だと思えます。

幹事報告 小門 茂樹 幹事

- 高石ロータリークラブ例会休会のお知らせ
5月18日(火)・5月25日(火)の例会は休会
- 和泉ロータリークラブ例会変更のご案内
5月19日(水)・5月26日(水)の例会は休会

○当泉大津ロータリークラブは、今年度末までソーシャルディスタンスを保ち、感染防止対策をしながら最後まで頑張りたいと思いますので皆様、ご協力のほど宜しくお願い致します

委員会報告

- 本日例会終了後、次年度第2回打合せ会がありますので、関係者の皆様は宜しくご参集お願い致します(渡辺 万寿 次年度幹事)
- 母の葬儀には皆様にお悔やみいただきまして本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます(南出 和成 会員)

■ **ビジター** なし

■ **出席報告** 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
5/14	37名	7名	—	84.09%
4/30	32名	12名	2名	77.27%

メークアップ

- 榎本(5/6 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
- 小門(5/7 理事役員会)

ニコニコ箱

- ・植村さん、よろしくお願ひします(白谷)
- ・本日は植村会長エレクト、クラブフォーラム宜しくお願い致します(小門)
- ・植村エレクト、本日のクラブフォーラム宜しくお願い致します(山本(博))
- ・母の葬儀にはおみやみありがとうございます(南出)
- ・会員の皆様に色々とお世話になってます(平山)
- ・欠席の御詫びで御座居ます(釜野)
- ・前回例会欠席のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	13,000円
累計	618,000円

先週のプログラム 「クラブフォーラム」



植村 勢彦 会長エレクト

近年入会者も増えました。この10年で21名が入会しています。その内の5年以内で10名が入会しています。クラブの約半数が10年未満の仲間です。フォーラムに入る前に、ロータリーの事を少し説明してから本題に入ります。地区ガバナーエレクトの研修為に、毎年2月位に行われる国際協議会((GETS)ガバナーエレクト・トレーニングセミナー)は、アメリカ合衆国オーランド(フロリダ州)で開催予定でした。毎年ご夫婦で開催するのですが、今年は初めてバーチャル形式で開催されました。ガバナーエレクトもとても残念がっておられました。と言うのは、現地で恒例のジャパンナイトで、日本全国から参加されているガバナーエレクトと、親睦を図り友情を育みたかったそうです。そして、PETS(プレジデントエレクト・トレーニングセミナー)は、地区において毎年3月に2回に分けて行われます。私もPETSを3月21日と4月3日の2回に分けて参加しました。今回はコロナ禍と言う事で、オンライン配信(YouTube)と2回目はzoomで行われました。1回目は6時間程パソコンの前で画面を見ながらメモを書いたり、日頃からパソコンを使うのは2時間位で、目が乾いたり(ドライアイ)肩が凝ったりで長くは使われないですが、今回は6時間の長丁場でした。コロナ前は会長経験者に聞くとき会場に2名、2日間会場において会議形式で行うより楽やでとは聞いていましたが、それもそうかなと思いました。その前に2月27日の地区チーム研修セミナーのオンライン配信も見せていたので、ある程度はリラックスして見られました。その間に3月27日にもロータリー財団補助金管理セミナーにも参加し、最終に4月24日に私も含め次年度の各担当別に地区研修・地区協議会にも、オンライン配信で参加して頂きました。地区事業は当面の間は全てオンライン配信又は、バーチャル会議形式で行われます。

それでは次年度RI会長の紹介をします。インド・カルカッタ・マハナガルロータリークラブに所属されています。シェカール・メータさんは自身が設立した不動産開発会社の会長で、公認会計士でもあります。他にも色々な事業を展開する富裕層です。2021~2022のテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから・・・こう述べられています。彼は、ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長しました。メータ氏は、その経験を通じて他の人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会後もなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加されました。そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱か得る苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。その後も、子供への義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。「ロータリーが私の心に火をつけました」と言いました。そして「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じ様に、「奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」と言う信条を持つ様になりました」メータ氏のスピーチで、「ガンディーが電車に乗る時に、人混みでスリッパの片方を落としてしまいました。するともう片方のスリッパも放り投げたのです。何故かと聞くと、片方だけのスリッパは役に立たないから」と答えたそうです。こういった心情が彼の原動力になっている様に思います。メータ氏は、奉仕が生きがいとまで言われています。そして、各クラブで「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。「多様性と会員基盤の向上に焦点を当てる」メータ氏は、2021~22年度には会員が女子のエンパワメント(潜在能力を開花・権限委譲)に力を入れ、教育、リソース、奉仕、機会など、数々の女性の成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とする事が大切であると語りました。「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱か得る問題にロータリーが取り組み、それを会員がするように導く事ができます」そして全体的には、過去20年間、約120万人の横ばい。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して活動するように呼びかけました。メータ氏の「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう)は、今後17か月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。なかなか難しい事ですが、会員基盤を広げながら、ボロい根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」メータ氏は、「挑戦、立ち向かうのがロータリアン

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3114回

だからです」と言われました。最後に「計画して目標を立て、達成する奉仕活動をした事でも、ロータリーの会員から熱量のある、パワフルな次年度RI会長だと思えました。その根源は、ヒンズー教の出家者で、インドの偉大な思想家のヴィヴェーガンダの影響がとてもあると思います。1863年~1902年の39歳の生涯でヨーガの指導者や社会活動家でもあります。「奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。」「・・・こう言いました。『誰かを助ける時、その人に恩を施していると考えないでください。実際には、その人たちがあなたに恩を施しているのです』。次のような見事な言葉を加えました。「人生では、与える者、奉仕する者になり、及びます。ただし、与える時も奉仕する時も謙虚になり、ひびきずいて『与えさせていただけますか』『奉仕させていただきますか』』とお願いする気持ちになりなさい。』ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。理論物理学者で、ノーベル物理学賞のアルバート・アインシュタインが言ったように、『誰かのために生きてこそ、人生には価値がある』のです。インドは貧富の差がとても大きくまだまだ衛生環境も良くありません。課題は沢山あります。そして宗教的思想がインフラを遅らせている要因でもあると思えます。ただ皆さんもご存知の様に、今のインドではコロナウイルスの感染者数はもの凄いです。RI会長エレクトも大変な時期に直面しています。今後の展開がとても気になると思います。

その後、22の項目に分かれて説明がありました。時間の都合上会長方の時間に項目別にご説明します。今回の都合上フォーラムの時間目別にご説明します。フォーラムとはディスカッションとか討論会という意味なのです。そして「クラブアッセンブリー」は、クラブ協議会とか会員教育や活動計画の、発表や活動報告をするのですが、うちのクラブは、フォーラムもアッセンブリーも同じ様な発表の場になっている様に感じます。次年度は、そういう意味で形式も変化した方がいいと思います。早速ですがここで少し質問させていただきます。5年未満に入会した仲間は手を挙げて下さい。・・・このところコロナ禍で出来ない事もありますが、家庭集会を2回受けられた方は手を挙げて下さい。・・・1回の方? まだ1回も受けていない方?・・・家庭集会の意味を解っている方?・・・最初は私も聞いた時は、何処かの家で作るのかなと思いましたが、各クラブで多少の違いはありますが、おおまかに言うとテーマを決めて座談会・勉強会をして結果を発表する事です。そして井戸端会議や飲み会が付いてくるのです。うちのクラブは、3年未満の仲間を対象にしているのは、ロータリーの事を色々な事テーマで勉強会やオリエンテーションみたいな感じですが、私が入会した年に初めて受けた家庭集会は、外部から講師を招いて、米山奨学金がテーマでした。ロータリーの右も左も解らない私には、チンプンカンプンでした。翌年2回目のテーマが地区のグローバル委員会の方でした。フィリピンや途上国の教育支援をする活動の様子を聞きました。この頃は少し分かった様な気がしましたが、本当はロータリーの基本的な事を教えて頂きました様に思いました。7~8年位した時に、未だにロータリークラブがよく分からないので、当クラブのベテランロータリアンに講師をお願いして理事のオリエンテーションを開いて頂いた時に、ロータリークラブは世界的な奉仕団体ですが、寄付団体ではありませんとか、例外的な道場ですとか、I serveの意味を解りやすく説明して頂きました。その時は目から鱗が落ちる思いでした。家庭集会もこう言うオリエンテーション的な事をした方がいいのではないかなと思いました。次年度は委員長にお願いして、こういった家庭集会を開催したいと思えます。

今年度のテーマは、RI会長エレクトも、地区ガバナーも宗教家思想を重んじておられる様に思えます。

まだまだお話す事はありますが、時間の都合上次年度の会長の時間に残りを、分けてお話させて頂きます。

今年度のテーマは、RI会長エレクトも、地区ガバナーも宗教家思想を重んじておられる様に思えます。

今年度のテーマは、RI会長エレクトも、地区ガバナーも宗教家思想を重んじておられる様に思えます。